

2025年7月6日

(朝 10:30-11:30)

聖 日 礼 拝

司会 城尾マコト

前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレイヤー
招 詞	創世記 11 章 4~7 節(新 11 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレイヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全 員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全 員
交説文	新改訳 21 番 詩篇 62 篇 895 頁	司会者・全 員
聖 書	イザヤ書 45 章 22 節(旧 1009 頁)	司会者
讃美歌	新聖歌 67 わが心は	ヒムプレイヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレイヤー
聖餐式	新聖歌 52 備え給いし	
讃美歌	新聖歌 275 信仰こそ	ヒムプレイヤー
メッセージ	「人の住まう世界を神様は創られた」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 438 憂む世人のために	ヒムプレイヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	



Youtube



Facebook



HomePage

イザヤ書 45 章「人の住まう世界を神様は創られた」

古代と現代のバベル：旧約時代、バベルの塔を建てた人々は「天に届く塔を建て、名をあげよう」と神の領域に侵入しようとする傲慢を示しました。神はこの反逆に対し、言語を混乱させて人々を散らされました。

現代の日本でも、似たような問題が起きています。過疎化により管理者を失った山林が、外国資本によって森林伐採され、大規模太陽光発電所に変えられています。日本の地理的特性を無視した開発により、土砂災害や環境破壊が各地で報告されています。これもまた、短期的利益を優先する人間の傲慢の現れではないでしょうか。

神の創造意図：イザヤ書 45 章 18 節で神は「いたずらにこれを創造されず、これを人のすみかに造られた」と宣言されています。「いたずらに」(ヘブライ語:トーフー)は「混沌」「無目的」を意味し、神が世界を無目的に創造されたのではないことを示しています。この世界は偶然の産物ではなく、神の明確な目的と愛によって創造されたのです。

人間の責任「地を従わせよ」：創世記 1 章 28 節の「地を従わせよ、治めよ」(ヘブライ語:カーバシュ、ラーダー)は、自然に対する人間の管理責任を表しています。これは支配や搾取ではなく、良い羊飼いや庭師のように愛と知恵をもって世話をすることを意味します。

遠足で歩いた美しい山道も、実は継続的な草刈り、間伐、道路整備など人間の丁寧な管理があってこそ維持されています。一方、放置された森林では、過密な樹木により日光が遮られ、土砂災害のリスクが高まります。放置竹林も根が浅いため、豪雨時に滑落する危険性が指摘されています。

日本の農民の知恵：日本の農民たちは何世代にもわたって山林を管理し、計画的な伐採と植林を通じて美しい自然環境を維持してきました。しかし現在、離農者の増加により自然の守り手が失われつつあります。

貪欲への警告：「すべては自分のもの」「ここで一儲け」という強欲な動機で自然をコントロールしようとすることは極めて傲慢です。コロサイ 3 章 5 節は「貪欲は偶像礼拝にほかならない」と警告しています。自然は神の所有物として私たちに委託されており、忠実な管理者としての責任があります。

希望への招き：私たちの日之影でも、祖父母、母が守ってきた山や畑がありますが、後継者不足は深刻です。しかし絶望はありません。母がこの教会のために「良い助け手を」と祈ったとき、神は私を大阪から送ってくださいました。イザヤ書 45 章 22 節「地の果てなるもうもうの人よ、わたしを仰ぎのぞめ、そうすれば救われる」の約束を信じ、私たちも神に助け手を求めて祈り続けましょう。神は創造の秩序を回復する「耕し、守る者」を今も求めておられます。

城尾淳一